

留 学 報 告 書

留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名	ハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジ
留学期間	2018年8月～2019年3月
留学を開始した時の学年	2年生

留学費用（概算）

授業料（プログラム費用）	67万円
保険料	8万円
宿舍費（1か月あたり）	7万5千円
食費（1か月あたり）	2万5千円
渡航旅費	13万3千円

滞在形態関連

1) 種類
ルームシェア。
2) 部屋の形態
個室。
3) 設備
シャワー、トイレ、キッチン、ランドリー、インターネット環境、宅配ボックス。
4) 住居を探した方法
Vivi navi hawaii。

現地情報

1) 大学内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？
いいえ。
2) 現地で病院にかかったことはありますか？
いいえ。
3) 保険について、現地の医療保険に加入しましたか？
いいえ。
4) 留学にあたり、必須の予防接種はありましたか？
はい。MMR。
5) 学内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか？
日本にいる友人や家族。

6) 現地の治安はどうでしたか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？
都市部は治安はそこまで悪くなかった。ニュースで情報を確認する。対策としては、危険なところに一人で行かない、横断中も車に気をつける、ホームレスの多い場所を避けるが挙げられる。
7) パソコン、携帯電話、インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？
滞在先のインターネットの接続はたまに悪かったがそこまで不便しなかった。
8) 現地での資金調達はどのように行いましたか？
基本的に現地では、日本で作っていたカードで生活していたため、日本から送金してもらっていた。また、日本から米ドル紙幣も持ってきた。
9) 利便性、買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持っていくべき物がありますか？
利便性は良いが価格が高いため、必要なものは日本から送ってもらっていた。
10) 授業料（またはプログラム費用）は、どのように支払いましたか？
クレジットカード。
11) その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。
外食はお金がかかるので、自炊していた。

渡航について

1) 現地空港から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？
家を借りていたところのオーナーにタクシーの半分以下の値段でピックアップしてもらった。
2) 到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われていましたか？
はい。数日間。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

履修した授業科目名
Introduction to Hospitality and Tourism
授業内容や試験、授業を受けた感想について
教科書を読み進めながら毎週課題とクイズに答えていくスタイル。授業内容は、様々な観光業についてチャプターごとに知識を深めていく。オンラインで行われたが、アサイメントも多くプレゼンなどもあった。

履修した授業科目名
Hospitality and Tourism International Internship
授業内容や試験、授業を受けた感想について
インターンシップやハワイ生活について、また今後のキャリアについても多く話した。プレゼンテーションや読書課題もあり大変だったが、親身になってくださる講師の方で信頼できるクラスだった。

留学体験記

<p>留学しようと思った理由や、この留学先を選んだ理由</p>	<p>私は、高校生の時にアメリカに留学し、その経験から観光業界や日本の文化、海外と日本の魅力について学びたいと志すようになりました。また、語学の勉強よりも実践的な大学生の間にしかできない経験をしたかったため、アカデミック留学ではなくインターンシップを選びました。インターンシップの候補の中でも、ハワイという場所や JTB という環境は、これからの日本の観光業を考え、目指すべき観光の在り方を学ぶ上で最適な場所だと感じました。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>留学計画を考え始めたのは留学が決まった3月初頭からです。具体的に多くの準備はしませんでした。日本の JTB という会社や JTB Hawaii の活動についてはホームページなどを通して勉強をしました。また、ハワイには旅行で数回訪れた程度だったので、観光スポットや人気のお店などについても簡単に調べました。私は、ハワイに到着してから2週間程度ハワイ周る余裕があったので良かったです。観光地としてのハワイの知識は必要不可欠なので、日本であらかじめ予習をしておくことより良かったかもしれません。</p>
<p>留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等</p>	<p>ハワイでの暮らしや観光業の接客面で役に立ったのは、市バスのアプリ「Da Bus2」や「uber」飲食のランキングサイト「yelp」やハワイについての観光雑誌とマガジンです。車のない生活で、ハワイを移動するには市バスや uber が必要不可欠でした。車社会なので市バスも不定期であり必ず出かける前にアプリで運行状況を確認していました。また、土地感覚のない頃は google maps を確認していました。職場でも、自身の携帯電話を使って情報を確認することがあったので毎日上記のアプリは多用していました。</p>
<p>大学・学生の雰囲気（職場や同僚の雰囲気）</p>	<p>JTB Hawaii Ala Moana の CS の方々はとても優しくアットホームな職場環境でした。スーパーバイザーの方々とも毎日ともに働く環境で、親身にサポートをしていただきました。職務に慣れない時やクレーム対応の際も丁寧に対応していただいたので、思っていたよりも早く職場に慣れカスタマーサービスにも集中できたと思います。同僚の皆さんも仲が良く、プライベートの話もたくさんしました。休憩時間が毎日楽しみでいつも支えていただきました。有難いことに、日本に帰国してからも連絡を取り合う仲にもなりました。</p>
<p>滞在先の雰囲気</p>	<p>留学前から日本人のオーナー(大家さん)、日本人女性のシェアハウスを探していました。ハワイには日本人が多いので、私の滞在先には留学生が二人暮していました。隣の家にはハワイ在住のアメリカ人のオーナーが家族で暮らしていました。自分の部屋があり、バスとキッチンが共有でした。二人のシェアメイトは、私よりも年齢が上の方で、行動時間もあまり被らなかったのであまり親密な仲ではありませんでしたが、何も問題なく生活していました。職場と大学から中間のところに住んでいたため、とても便利な立地でした。</p>

<p>留学先における交友関係</p>	<p>留学先での交友関係は、大まかに JTB の方々と KCC の友人に分かれます。JTB では、パートナーの方々はもちろん異なる営業所の年齢の近い方々と集まる機会もあり、よく連絡を取っていました。また、KCC では、インターンシップの授業が同じだった他大学の学生と仲良くなり頻りに遊んでいました。それとは別に、最初のガイダンスで親しくなった友人たちや留学生とも定期的に連絡を取っていました。KCC の友人からまたその友人とつながる機会も多く、想像よりも多くの方々と出会う機会がありました。</p>
<p>留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと</p>	<p>ハワイは物価が高いので毎日の自炊や交通手段が発達していないのであまり簡単に出かけられなかったのが不便でした。一番大変だったのは、やはり KCC での授業と仕事の両立です。毎週5日勤務しており、残りの1日は大学に行くという生活をしていました。また、KCC での二つの授業は毎週提出課題やテストもあり、遊びに行く時間もかなり限られていました。JTB での仕事も、勤務外に考えることや事前に調べて答えを考えておくことも必要だったので、時間配分の面で両立には苦労しました。</p>
<p>留学先における学習、課題や試験</p>	<p>KCC でのツーリズムについての授業では、教科書からのテストと調べ学習がメインでした。勉強は、ひたすら毎週チャプターごとに教科書を読み、暗記することの繰り返しでした。課題は、インターネットや文献を探すプレゼンテーションの準備がほとんどでした。インターンシップのクラスでは、毎週の日記や自分のキャリアや考えを深める課題が毎週出ていました。最後には、30分の総まとめのプレゼンテーションも行いました。それぞれ毎日、仕事が終わったら pc や本と向き合いながら課題に取り組んでいました。なるべく課題は早く終わらせて生活リズムを崩さないように心がけていました。</p>
<p>大学外の活動（課外活動や自由時間など）</p>	<p>オフの2日のうち、1日は大学が必ずあったので、必然的に大学の課題と向き合う時間が多かったです。授業が終わった後に、友人と出かけることが息抜きでした。また、ワイキキやアラモアナで友人と遊び、観光スポットに訪れることが JTB でのカスタマーサービスの接客にも活きたので良かったと思います。また、時間に余裕のある時には、少し遠出をしてオアフ島を巡ったり、お客様によく聞かれる定番のスポットなどに足を運んだりもしました。</p>
<p>留学を志す人へメッセージやアドバイス</p>	<p>まだ、将来に何をしたいか分からないからこそ、学生の間なるべく多くのことに挑戦すべきだと思います。今回のインターンシップ留学では、日本では経験できないことを就職活動の前に知り、経験できたと思います。また、自分の興味があった分野についても知識の幅を広げ、その分野に携わる多くの方に出会うことができました。日本ではなかなか得られない体験でした。何事にもチャレンジし、自分の可能性を広げられる機会を大切にしてください。将来、振り返ってみると人生の分岐点がこの留学になるかもしれません。</p>

